



帯広西ロータリークラブ

第2064回例会

2014.10.16

会報



■RI第2500地区テーマ■

誠心誠意

Service With Sincerity



■クラブ・テーマ■

「絆を重んじ、信じ合い、輝やけるクラブを目指そう」

会長報告

平田利器会長

皆さんこんにちは。

本日はまたまた嬉しい例会であります。新しい仲間、小野辰夫様が本日入会してくれまます。皆さんで歓迎しましょう。後程、推薦者の久保且佳会員から紹介してもらいます。また本日は、ゲスト卓話に「ハイルハンバグ子ども応援奨学金の会」の小林志歩様をお迎えし、モンゴルと十勝の交流について、後ほどお話をさせていただきます。宜しくお願いいたします。



さて、最近朝晩の冷え込みが少しずつ厳しくなってきました。そこでそろそろ冬タイヤの準備となる訳ですが、現在の乗用車冬タイヤは全てスタッドレスタイヤになっています。簡単に言うと、スタッド=突起物、鋸、これらのものがないタイヤという意味です。タイヤの性能とは、いかに摩擦を利用するかが重要であります。夏タイヤと冬タイヤでは、重要な摩擦に関しては相反する性能を追求することになっています。夏タイヤにおいては、転がり抵抗を抑え、路面との摩擦を少なくし、発進、停止、旋回、などにおいて乗り心地、騒音が少ないのが快適なタイヤとなっています。しかしながら、冬タイヤは、いかにゴムの摩擦できちんと発進、停止をするかにかかっています。水の表面は平らな様で平らではなく、でこぼこしています。水が一番滑る環境は、マイナス0度～5度で、これはスケート競技においても同じ条件となります。滑る原因は、水の膜です。スケートは、ブレードと氷の表面の摩擦を上手に保持し、滑ら

せることがポイントの一つです。氷の上でもきちんと車が停まるのは、ゴムの摩擦とゴムの吸水力にかかっています。これは材質とタイヤについている模様(俗にいうパターン)が重要です。タイヤは走行すると発熱し、温度が上昇します。発熱によって氷の表面を溶かします。すでに述べましたが、これが滑る原因です。すべりを抑制するために、速度を抑え、早めに対応することが重要なのはいうまでもありません。商品を選ぶときには自分の車の大きさ、排気量、を念頭に、どのゴムでどんなパターンがあうのかを確認して選んでください。ゴムに関しては、できるだけ吸水性の高いスポンジ状態のゴムが理想とされています。食器を洗うときに使うスポンジをイメージしてください。この吸水性が滑りを悪くしていることは、ご家庭で経験されていると思います。すなわちタイヤにおいては、良いものは柔らかくて吸水性の多い方で、悪いものは固く吸水性が悪いもの、ということになります。この、素材の技術開発にお金がかかるわけで、価格ばかりではなくいかに安全性が保たれている商品か、素材も含め確認する事をお勧めいたします。以上、会長報告とします。

会務報告

天野清一幹事

①帯広北RC、夜間例会開催のご案内

日 時 10月16日(木)
午後6時30分
場 所 ホテル日航ノース
ランド帯広



※尚、10月17日(金)の繰上げ
例会と致します。

ニコニコ	10月16日	20,000円
献金	累計	281,221円 (10月16日現在)



会 長 平田 利器
幹 事 天野 清一

副会長 佐々木和彦
副会長 飯田 正行

会場監督理事 堂山 啓太
プログラム委員理事 久保 且佳

発行：広報委員会
委員長 森 房明 (副)立崎 貴之



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

②帯広東RC、夜間例会開催のご案内

日時 10月21日(火)午後6時30分
場所 アパホテル帯広駅前
(帯広ワシントンホテルが9/30より
名称が変わりました)

※帯広東RCのメーキャップは、アパホテルの
1Fレストラン『フォーシーズン』に置いてあ
ります。

③帯広RC、10月22日(水)の例会は、休会と致し
ます。

④帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内

日時 10月23日(木)午後6時30分
場所 シャレード
会費 2,000円

⑤帯広西RC、10月30日(木)の例会は、休会と致
します。

帯広北RC、10月31日(金)の例会は、休会と致
します。

■新会員紹介 会員増強委員会 河西委員長

先週に引き続き、新入会員を
紹介します。新入会員は小野辰
夫さんで、推薦者は久保且佳会
員です。



推薦者 久保且佳会員



小野さんとは、アクト、青
年会議所、商工会青年部と偶
然にも同じ時期にメンバーと
して歩んできましたが、今回
は積極的にロータリーを進め
たところ、快く入会いただくことができました。

新入会員 小野辰夫さん



23年前にアクトの活動をさ
せていただいております、非常
に当時からお世話になっていた
記憶があります。是非よろし
くお願い致します。

■委員会報告 出席委員会 上野委員長

例会出席優秀会員表彰

30年間 岡田 武稔 会員
25年間 三野宮 功 会員
20年間 茨木 雅敏 会員



■ニコニコ献金 披露 田中委員長

平田 利器 会長

国際ロータリー2500地区大会、
多数の出席ありがとうございます。
無事終了しホッとしています。
また、本日は西クラブ70人となる
新入会員小野様を迎え、嬉しい限りです。更に仲
間を増やしましょう。



川上 哲平 会員

地区大会で、年寄り元気であると特別表彰され
ました。

上垣香世子 委員長

国際奉仕担当例会です。宜しくお願いいたします。

河西 智子 委員長

本日、小野辰夫さんが入会されます事に、心より感
謝申し上げます。

久保 且佳 会員

本日より小野君が入会いたします。よろしく願
います。

小野 辰夫 会員

本日より宜しくお願い致します。

萱場 誠一 会員

地区大会ゴルフコンペにて準優勝しました。

本田美喜男 会員

先日のゴルフ同好会で優勝、おまけに馬券も当
りました。本当のニコニコです。

伊東 肇 会員

今度は、連盟会長杯フットサル大会で、息子の
チームが優勝しました。

◆プログラム

国際奉仕委員会 上垣委員長

西ロータリーの皆様、ごきげんよう。本日は女性から見ても非常に魅力的な女性であり
ます、ハイルハンバグ子ども応援奨学金の会の小林志歩様をお招きして十勝とモンゴルの
交流のお話いただきます。今回で8回目の講演となります。

西ロータリーの方から頂いているお金がどのように活用されているか、1度現地を当
員3名で訪問したことがあります。また改めてどなたかご訪問頂ければと考えており
ます。本日は、宜しくお願いいたします。



「モンゴルと十勝の交流について」

ハイルハンバグ子ども応援奨学金の会 小林 志歩 様



今日は、皆様に頂いた支援に関する内容以外の部分も多くなるかとは思いますが、最近非常に十勝とモンゴルの交流が活発になってきており、その部分を中心に話をしたいと思います。特に、同友会十勝支部において農業貯蔵庫とその技術に関する支援であるとか、その関係でとかちモンゴル会を作っていてその会についての話などをしてしたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

先ほど8回目の講演ご紹介いただきましたが、それを含めて本当に長い間教育支援活動にご理解いただきサポートしていただき本当にありがとうございます。2007年にハイルハンバグ子ども応援奨学金の会立ち上げの際、岡田様、尾藤様、越智様、川田様とモンゴルに行って、7年になりました。7年と言っても非常に長い期間でして、当時子供がいなかった私に来年小学校に通う子供がいるというくらい長い期間であり、その間のご支援感謝申し上げます。

アルハンガイ県チョロトソムというところで支援をしているのですが、最近はこのアルハンガイ県を耳にするのも多いかと思えます。それは、大相撲の「逸ノ城」の出身地であります。その県も非常に広いのですが、彼はその中でも遊牧民の出身で、7年前に行った時はおそらく巨体で馬に乗っていたと思われま。この間、本当に状況が変わりまして、当時はモンゴルとの接点というか仕事はあまりなかったのですが、今はかなり多くのモンゴルと十勝の仕事をしてもらえるようになりました。

それでは、スライドを使いながら説明に入ります。今年の夏、同友会の「草の根技術交流事業」で、モンゴルに出張をさせていただきました。

(スライド1) この写真は、ウランバートルのまさに今を表しています。ものすごい建設ラッシュです。あわせてもう一つすごいのは、渋滞です。このため、車の利用にはナンバー規制が行われていて、ナンバーによって走ることのできる曜日が決まっています。私は、モンゴルで運転は絶対に「無理っ!」と思っていますが、常にクラクションが鳴り、割り込みをしています。



スライド1

また、写真に写っているように邸宅が建設されていて、儲かっている人がこのような住宅を建設しています。この部分にビジネスチャンスがあると見る人もいて、道内では旭川の業者が進出しています。

(スライド2) この写真は、「ザイサン」からのもので、昔は非常に展望が良かったのですが、いまは四方八方に高層建築物が建っています。



スライド2



スライド3

(スライド3) 先ほど話したとおり、道内企業の進出図です。これを作成したのは道庁で、北海道もモンゴルに寒冷地技術を提供することや企業進出を促進するという合意を昨年しているということで、非常に力が入っています。モンゴルでのプレゼン用に作成されたモンゴル語の資料です。黄色のマークがJICAの事業になります。JICAのモンゴル事務所に聞くと、事業の半分は北海道のものということです。左下にロシア語で記載あるのが、これから説明する貯蔵庫建設の帯広の事業になります。その他の事業には、地中熱を使ったハウス建設事業、看護師を受け入れる事業そして公園緑化事業などがあります。白は企業の直接行っている事業で、ネクサスさんなどがありますが旭川の企業が多く見られます。

(スライド4) これがJICAの事業で先ほども説明しましたが「草の根技術交流事業」で、私はそこで雇われる形で、現地とのメールのやり取りやモンゴルの方との通訳などを請け負っています。この写真は、モデル事業で倉庫を建設するために、事前に幕別において建設技術を教えているところの写真です。約40日間滞在しました。



スライド4



スライド5

(スライド5) この倉庫は技術者2名で1ヶ月ほどかけて建てたものです。十勝でよく見かけるようなじゃがいもの貯蔵庫ができました。

(スライド6) 写真は先程話した「だいち」の林さんが夏に、現地ボルモールを訪問してきた時の写真です。社会主義時代はドイツの技術を使った大規模農業が開



スライド6



スライド7

(スライド7) コンテナは貯蔵庫の資材全てで、十勝から輸入しました。草原の中なのですが、指定した日時場所にきちんと配達されていました。この写真の中の2名が十勝からの技術者ですが、食べ物

の問題など大変な1ヶ月を過ごし、建設しました。私も毎日、ネット電話で現場とのやりとりをしました。



スライド8



スライド9

(スライド9)(スライド10) モンゴルの気候は非常に厳しいので、実際に大丈夫かどうか1年間かけて検証しているところ



スライド10

です。ジャガイモを保存しているところですが、温度の状況などを調べています。そもそも貯蔵技術が無いために、収穫した時しか出荷できないため、収穫時は仲買人

たちから買い叩かれるということがあり、農業者の生活が苦しいという状況があります。これを改善するために貯蔵施設の建設を提案したということです。

(スライド11) それを首都圏に付加価値を高めて販売するノウハウも十勝から学び実践していくことです。また、地元産品の活用という点で、芽室の愛菜屋を視察したり、地元産品のPRの手法や、6次産業なども学んだりしています。



スライド11

(スライド12) 貯蔵庫の事業以外にも緑化の關係の事業で植林に関しても学んでいるのが、スライド



スライド12

の写真になります。これもJICAの草の根事業で庭園緑化を2週間学びに来たのですが、写真は真鍋庭園さんでその時に通訳として同行しました。現在、国立の960ヘクタールの庭園整備が始まり、苗木を生産しなくてはならずそれを学んでいる模様です。札幌などにも行き、大通公園など大規模公園も視察しました。

(スライド13) この写真は、説明したようにモンゴルと十勝の交流が活発になる中で、昨年ぐらいから会を立ち上げようという話が出てきていた



スライド13

が、とうとう「とかちモンゴル会」ができて、モンゴルで仕事をするうちにモンゴルが好きになった方や、普通の市民でモンゴルが好きな人などが集まってできました。視察に来た時に歓迎会を「とかちモンゴル会」で開催しました。写真にはよくご存じの方がそれぞれに写っていると思いますが、畜大の原虫病センターの井上所長もいらっしゃいます。モンゴルとは数億円のプロジェクトを手がけており、モンゴルを縦断して家畜の血液採取を行い、家畜の原虫病検査キットの開発を手がけています。この懇親会参加のモンゴルからの6名の中にチョロトソム出身がいて、以前岡田さんたちと訪問した時からするとすごく発展し、たくさんのお店ができたと言っていました。ちょうど、「逸ノ城」が活躍している時で、この話で盛り上がりました。

是非、皆さんにもこの会に参加してもらいたいと思います。このようにモンゴルから来た時に暖かく迎えるという会なので、ご参加よろしくお願ひします。



スライド14

(スライド14) 池田のシードックショーに連れて行った時の写真なのですが、日本人はショーが終わってから犬の方に集まっていたのですが、モンゴルの方はこのように羊に集まっていました。スライドタイトルで「とかち×モンゴル=?」と書きましたが、一つの回答はモンゴルにとって学びを提供することだと思います。畜大=畜産、JICA=農業という、2つも学べる場があるのが十勝の強みだと思います。これからも、ここを起点に発展できると考えています。これからも、活動に寄付などを通じてご協力いただけたらと考えております。